

事業所における自己評価結果（公表）

別紙3

公表：平成31年 月 日

事業所名 特定非営利活動法人どうぞ こどもデイサービスらびい

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	14	2		
	②	職員の配置数は適切である	16			
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	15	1		
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	16			
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	12	4		
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	13	3		
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	12	4		現在は、らびい通信に載せて公開していますが、ホームページの活用を検討していきます。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4	12		現在のところ、第三者評価は受けておりません。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	15	1		
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	14	2	活動の記録をもとに立案しています。	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	12	個々の身体状況や発達状況に応じてアセスメントしています。	
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	13	3		

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	15	1		
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	14	2		
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	16			
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	15	1		
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	15	1	時間差で出勤する職員にはその都度伝達、確認しています。	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	11	5	時間差で退勤する職員には、その都度共有するようにしています。	毎日、全体で振り返りができないので職員会議等で共有できるようにします。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	16			
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	13	3	最低6か月ごとの見直しをしています。	
	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	13	3		
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	14	2		
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	14	2		
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	14	2		
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	8	8		
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	8	8		
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	14	2		
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	9	7	図書館、コミュニティセンターのお話会や保育園の公開日に体調が良ければ参加できるように調整しています。	保護者の方のご意見が「はい」が2名、他が7名でしたので、今後、保護者の方々のご希望を伺って次年度の計画の参考にさせていただきます。

	②9	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	7	9		
	③0	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	16			
	③1	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	5	11		
保護者への説明責任等	③2	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	13	3		
	③3	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	13	3		
	③4	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	15	1		
	③5	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2	14		保護者会の設定がなかなか難しく、実施できていないのが現状です。
	③6	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	15	1		
	③7	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	14	2		
	③8	個人情報の取扱いに十分注意している	16			
	③9	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	16			
	④0	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	5	11		
	非常時等の対応	④1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	11	5	
④2		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	13	3		
④3		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	15	1		

④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	14	2		
④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	12	4		
④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	11	5		
④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	11	5	身体拘束は行っておりません。椅子に座るときやバギーのベルトは安全のために行っているものです。	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

保護者の方から頂いたご意見をもとに職員で話し合い、今後の課題について以下のように考えました。

らびいの今後の課題

1. 保護者会を1回／年開催することを目標にする
2. 個別面談を定期的に行い、個別支援計画に反映する
3. 防災訓練の予定は年間計画に載せ、お配りする
訓練の様子は、らびい通信で保護者に報告する
4. 障害のない子ども達との交流については、保護者の方々のご意見を伺い、計画の参考にさせて頂く
図書館、コミュニティーセンターお話し会、保育園公開に参加、などは今まで通りに計画する

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：平成31年 月 日

事業所名 特定非営利活動法人どうぞ
こどもデイサービスらびい

保護者等数（児童数） 12 回収数 9 割合 75 %

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	9					
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	8	1			リハビリの職員が増えてほしい 看護師、保育士は十分に配置されていると思う	
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	9				障害特性に配慮していただき、コミュニケーション方法を家庭と共有して頂けている	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	9					
適切な 支援の 提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	9				今年度の計画内容が昨年と同じで少し疑問を持ちました	次年度から、4月及び9月の利用日に合わせて面談を行い、ヒアリングと説明が充実するようにいたします。
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	9					
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	9					
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	9					
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	3	2	2	希望していないので大丈夫です	
保護者 への 説明等	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	9				変更がある際には必ず説明をしてくれる	
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	7	1		1		
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	2	4	1	2		

	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	9					
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	5	3	1		定期的でないかわりに、いつでも相談にのってくれていると思います	次年度から、4月及び9月の利用日に合わせて面談をできるように調整いたします。他にもこれまで同様、随時ご相談に応じます。
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	2	2	4	1	保護者会はないが、必要とは思わない	
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	8	1				
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	9				行き帰りに必ず情報共有がされている	
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	9				定期的に写真が沢山の会報が発行されて楽しみにしている	
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	9					
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	5	1	2	1	訓練の結果、抱っこひもをすぐに取り出せるようにバッグに入れておくことになった 訓練を実施したかどうかかわからない	訓練のインフォメーションや報告が不足していました。訓練の予定については、随時お知らせするようにいたします。
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	2	2	2	3	災害時用に抱っこひも等が用意されており、災害を想定して備えている	
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	8	1			帰ってくると満足した表情をしていたり、楽しめた様子が伝わってくる 家でしてあげられない体験をさせてもらい良い刺激となっている	ありがとうございます
	㉓	事業所の支援に満足しているか	9				こども達が落ち着いて過ごすことができ、とても満足している	ありがとうございます

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。